

英語科 学習指導案

学 級：2 年 1 組 2 9 人
場 所：体 育 館
指 導 者：教 諭 岩 崎 健

1 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 5 Universal Design

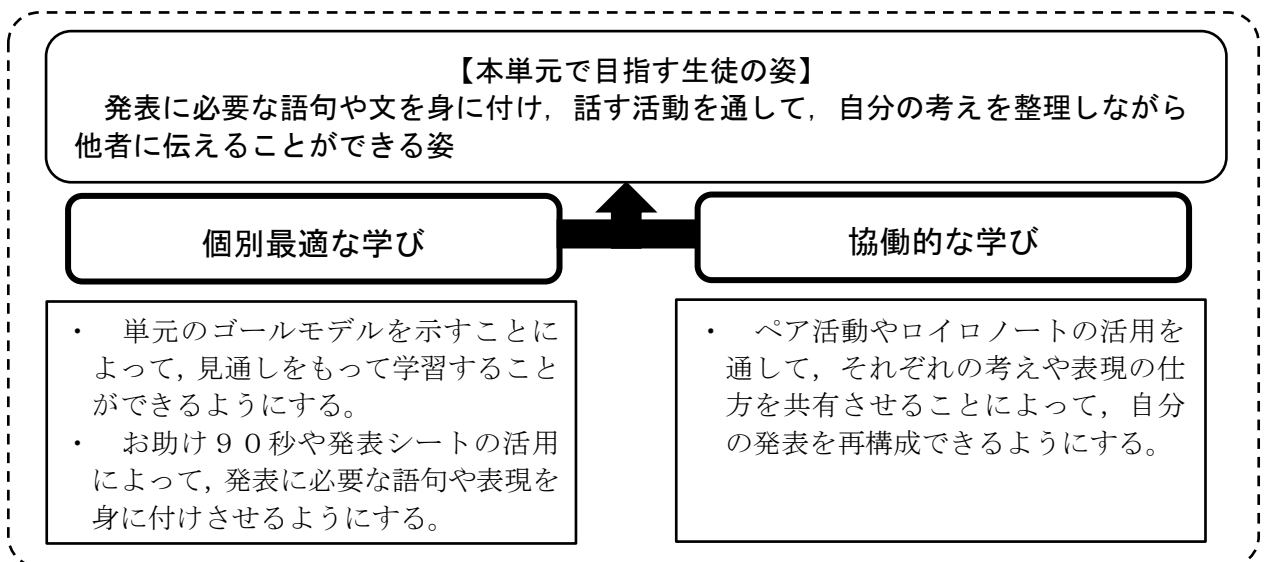
2 単元の目標

ユニバーサルデザインに関する自分の考えや感想をまとめるために、教科書の本文等を読み、ユニバーサルデザインについて他者と意見を交流させながら、「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて発表することができる。(話すこと [発表])

3 単元の評価規準 (話すこと [発表])

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
<p>[知識]</p> <p>① 疑問詞+to+動詞の原形，主語+動詞+(人)+疑問詞+to+動詞の原形，主語+be動詞+形容詞+that の特徴やきまりを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>② 「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて発表する技能を身に付けている。</p>	<p>① 自分の考えや感想をまとめるために、教科書の本文を読み、「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>① 自分の考えや感想をまとめるために、教科書の本文を読み、「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p> <p>② 教科書の題材に興味・関心をもち、美術科の授業で学んだことを生かしながら自分の考えや感想をまとめようとしている。</p>

4 「個別最適な学び」と「協働的な学び」に着目した「授業デザイン」について



5 指導と評価の計画

	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	知	思	態	評価方法	
1	<p>■ 単元の学習目標を確認する。</p> <p>■ 教科書の Preview 等を通した題材のスキーマ形成を行う。</p> <p>① 中扉を見て, 題材についてのスキーマを引き出す。</p> <p>② 体育館に行き, 必要なユニバーサルデザインは何かを考える。</p>			○		
2	<p>■ 疑問詞+to+動詞の原形の特徴やきまりを理解する。</p> <p>① 本文で使われている新出語句の意味や疑問詞+to+動詞の原形の構造と意味を理解する。</p> <p>② Scene 1 を読んで, 内容に関する質問に答える。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ノート ・ロイロノート ・ワークシート 【態-②】 	
3	<p>■ 主語+動詞+(人)+疑問詞+to+動詞の原形の特徴やきまりを理解する。</p> <p>① 本文で使われている新出語句の意味や主語+動詞+(人)+ 疑問詞+to+動詞の原形の構造と意味を理解する。</p> <p>② Scene 2 を読んで, 内容に関する質問に答える。</p>	○				
4	<p>■ 本文中の表現を用いて, 自分の考えを伝える方法を理解する。</p> <p>① Scene2 の本文を使ったパターンプラクティスをする。</p> <p>② 発表シートに必要な表現をまとめ, 自分の考えの伝え方を理解する。</p>	○				
5	<p>■ 主語+be 動詞+形容詞+that の特徴やきまりを理解する。</p> <p>① 主語+be 動詞+形容詞+that の構造と意味を理解する。</p> <p>② 発表シートに文や表現をまとめ, 自分の考えを伝える方法を理解する。</p>	○				
6	<p>■ ユニバーサルデザインの特徴を紹介する方法を理解する。</p> <p>① Read and Think 1 を読み, 概要を把握する。</p> <p>② ユニバーサルデザインの特徴を紹介する方法を理解する。</p>	○				
7	<p>■ Read and Think 2 の概要をつかみ, ロナルド・メイスの考え方を理解する。</p> <p>① Read and Think 2 を読み, 概要を把握する。</p> <p>② ロナルド・メイスの考え方を理解する。</p>		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ロイロノート

8 9	<p>■ 「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、自分の考えや感想、その理由などをまとめる。</p> <p>① 発表シートを用いながら、自分の考えや感想、その理由などをまとめる。</p> <p>② 自分の考えや感想、その理由などをペアで互いに発表し、意見交換をする。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ノート ・ロイロノート ・ワークシート 	
10	<p>■ 「避難所としての体育館に必要なユニバーサルデザインは何か」について、グループで発表会をする。</p> <p>① 自分の考えや感想、その理由などをグループで互いに発表する。</p> <p>② リフレクションシートで発表を振り返る。</p>		◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ロイロノート ・ワークシート <p>【思-①, 態-①】</p>	
後 日	<p>■ 単元テストと単元の振り返りをする。</p>		◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・ロイロノート <p>【知-①②】</p>

6 本時の実際（4 / 10）

(1) 目標

本文中の表現を使いながら、ユニバーサルデザインについて自分の考えを発表することができる。

(2) 本時で目指す生徒の姿

発表に必要な語句や文を理解し、ペア活動を通して、自分の考えを伝えることができる姿

(3) 研究の視点

ア 個別最適な学び

- ① 発表シートにモデル文を示すことによって、表現の仕方を確認できるようにする。
- ② お助け90秒を用いた活動を通して、発表に必要な語句を身に付け、活用できるようにする。

イ 協働的な学び

ペア活動を通して、互いの考えや表現の仕方を共有することによって、自分の発表を修正したり再検討したりできるようにする。

(4) 単元のゴールモデル

モデルを提示することによって、単元の目標を視覚的にイメージさせるようにする。

導入	What universal design product do we need? We need the ramp in the gym.
内容（理由）	I have two reasons. First, there are many elderly people in Yoshida. Second, thanks to the ramp, they can enter the gym easily. It also helps people in wheelchairs.
まとめ（結び）	I'm sure that the ramp in the gym is helpful to many people.

(5) 展開

過程	時間	形態	学習活動	教師の手立て(・), 研究の視点, 評価(◎)
導入	3	一斉	1 あいさつをする。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">本文中の表現を使いながら, 自分の考えを伝えることができるようになる</div>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習目標を振り返りながら, 本時の目標を確認させる。
展開	6	ペア	3 帯活動(お助け90秒)をする。	<ul style="list-style-type: none"> テンポよく行う。研究の視点ア①
	5	一斉	4 Scene 2 本文の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発言を促し, インタクションを図る。
	7	各自	5 本文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 練習時間を設け, 各自の方法で練習できるようにする。
	7	一斉	6 本文を用いたパターンプラクティスを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ①What universal design product do we need? ②□ is one of universal design products. ③Thanks to □, we can □. ④It has a very helpful feature. </div>	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの例を用いて繰り返し練習させ, 発表の型を理解させるようにする。
	5	ペア	7 ペアで練習する。	<ul style="list-style-type: none"> 即興的に発表させた後, 困り感などを全体で共有できるようにする。
	8	各自	8 発表シートに必要な表現や情報をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 発表に役立つ文や表現, 必要な情報をまとめさせるようにする。研究の視点ア②
	6	ペア	9 発表シートを使いながら, ペアで互いに自分の考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 相手が理解しているかを確認しながら発表させるようにする。視点イ <p>◎ 発表シートを使いながら, ユニバーサルデザインについて自分の考えを発表することができたか。(思-①, 態-①)</p>
終末	3	一斉	10 本時の学習を振り返る。 11 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> うまくいかなかったことについてどう対処していけばよいか考えさせる。